

3. 地域クラブ移行に向けた関係者との連携体制の構築

(1) 地域クラブ指導者への説明と主体的な活動の推進

クラブ指導者には、地域クラブ活動のスムーズな移行に向けて、郡上市の地域クラブの現状や参考になる活動事例の紹介だけでなく協議会で策定したガイドラインを基に活動時間や休養日、体罰やハラスメントの根絶などの遵守徹底を指導しています。さらに、競技種目別に指導者が情報交換しながら将来の在り方について議論するワークショップも開催しています。



指導者説明会の様子

(2) 保護者の不安解消と持続可能なクラブ運営体制づくり

保護者には、中学校に訪問して入学説明会時に部活動の地域クラブ活動への移行の意義や郡上市の現状について周知しています。また、指導者説明会時には、保護者にも同席していただき持続可能なクラブ運営に向けて活動内容だけでなく安全面などリスク管理についても指導しています。

(3) 学校への協力依頼

県中体連への地域クラブ活動のスムーズな登録に向けて、学校と連携を図りながら郡上市で組織する中体連の組織改革を行っています。今後の地域クラブ活動の移行完了後にはクラブ指導者を主体とした協議組織を目指しています。

4. 地域クラブ移行に向けた課題と今後の取組

(1) 休日部活動における送迎支援

休日は一箇所に集合した合同練習を推進しています。しかし、郡上市の面積は県内で高山市に次いで広く、谷間に集落が多くあるため合同練習時の会場までの移動手段が一番の課題です。これからどのような支援策が有効か検討し、持続可能な環境づくりに向けて取り組みます。



吹奏楽クラブ合同練習の様子

(2) 平日部活動における地域内連携の推進

平日には指導者不足や保護者による送迎の負担を軽減するため、地元の小中合同チームで練習することを推進します。個々の技術や経験の差などの合同練習ならではの課題がありますが、指導者の工夫により活気のある活動を実現します。また、地元高校生も指導に参加することで生徒自身の学びの場になることも期待しています。



高校生による練習指導の様子

(3) 指導者の育成・確保

現在、国の事業を活用してスポーツ系・文科系を合わせて36クラブ143名の地域クラブ指導者を確保・育成しています。また、指導者がコーチング技術だけでなく、クラブ運営などの専門的知識を身に着けるための研修会の開催や指導資格の取得や更新に係る費用の一部を支援しており162名が指導資格を取得しています。今後、関係団体と協議を進め、指導者同士の連携した活動を推進し、競技種目ごとにクラブが協力し合える体制づくりを目指しています。